

☆ 夜間学校 釜ヶ崎 第37回

6/18 今晚7時より「希望の家」一階にて テーマ「なんでも話そう」

身近な話題や問題を持ち寄ろう!

*しばらく続いた雨も中休みで、ほっと一息つきました。

しかし、仕事はあいかわらず少ないし梅雨はまだまだこれから、本当に息をつけるにはしばらくかかりそうです。

*夜間学校に常連で来ていた人の中にも飯場に行く人が増えて少し淋しくなりました。

*最近の夜間学校でも、もっぱら仕事が少ないことが話題になっています。その中でも二つの意見があります。

「夜間」釜ヶ崎夜間学校とは...

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰でもがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等も、皆の力で解決してい

*一つは、仕事が減ってから騒ぐのは普段の心がけが悪いからだ。このような時の為に日頃から貯えでもして備えておくべきだと言うものです。

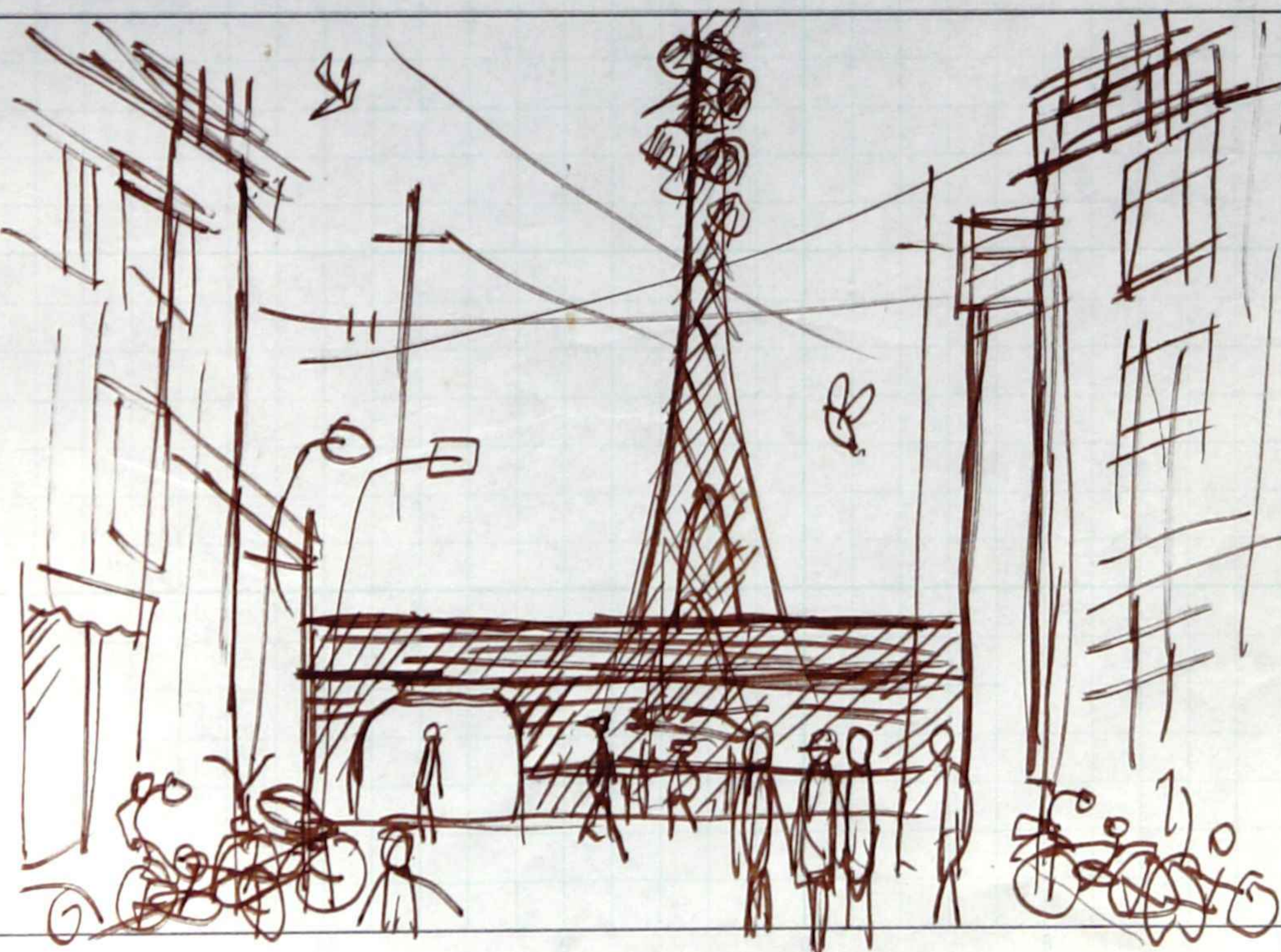
*もう一つは、話せばかりしていてもどうにもならない。どうすれば仕事が増えるか、それが問題だ。と言うものです。

*どっちの意見もたしかにその通りなのですが、それが又、一番むづかしいところですよ。

く為に、先生と生徒の関係ではなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いの知識と経験を通して学び、考え合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。

仲間の皆さんはどう考えますか。
*今回の夜間学校は、このような問題も含めて、特にテーマを決めず、自由に話し合いたいと思います。又、来月のテーマも皆で決めたいと思います。
是非多くの仲間が参加して下さい。



来週の予定

6月25日(木)「釜ヶ崎の歴史」前にやった「落書き」をもう一度やりま

(仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース

「仕事・今なぜこんなに少ない」(6/11) 第36回 報告

直接ひびく政策のよしみ

仕事と「ぜ」と生々るカギ

落ち込みつづく

40%減 現金求人

「今仕事が少ない」は、ただのグチではありません。センターの調べでも、現金求人では昨年四月と今年の四月で四〇%も減っています。雨が多かつたからという自然現象だけではありません。防衛費に金が使われて、俺たちのところへは仕事が廻ってこないとの発言は、政府の右よりの政策による福祉や公共投資の抑制が直接釜ヶ崎の求人にひびいてくることを示しています。しかも日雇という不安定な形態では、本当に「死線」をさまようことになります。

消される生の声と怒り

われわれの仲間が朝日新聞の「声」の欄に投書を出して「不景気にあえぐ労働者の実情」を訴えたのが掲載されました。ところが原文にあった「こんなに仕事が少ない」とは、弱い者を殺すためなんだ」という仲間の怒りの発言の部分は、カットされました。これは大新聞がわれわれの生の声を取り上げようとはしない証拠です。これでは、偏見と差別を温存するばかりです。とつと生の声をぶつけて大きくしなければ、強いものにかれてしまいます。

いかに誠実でも苦しい

しかし、仕事が少ないと言っても、個人の仕事や賃金にこだわらなければある。実際われは四千八百坪のところに行っている。

る。みんな甘えすぎや」とか「どうせこの時期は用が多いはず、前もってたくわえておかんからがたがたさわぐんや」との声をあります。しかし「自分はいくらノイでいるから」お前らに掛けが強い」と押しつけたらあかん。本人に問題がないとは言いがたいが、全体に問題があるんやから。そうです今「みんなに誠実にやっても苦しい人」もいます。みんなの弱さを七ねず、みんなで知恵を出しあおう。

(仮称)釜ヶ崎夜間学校
運営委員会準備会

萩の茶屋二一八八・喜望の家内

電話(06)6471-3946

(毎週木曜日七時~十時の間に)

